

# 新子安地区について

## 1 【地区概要】

JRと京浜急行の駅を中心に海側と山側に広がる地域です。海側には工場が多くみられます。さらに第一京浜国道と第二京浜国道が東西に渡り、交通の便がよく、古くから発展したまちです。近年、マンションの建設が増え、長年居住している住民に加え、転入者の数も増えています。また、地区内には、住民から親しみを持たれている、歴史ある子安小学校があります。

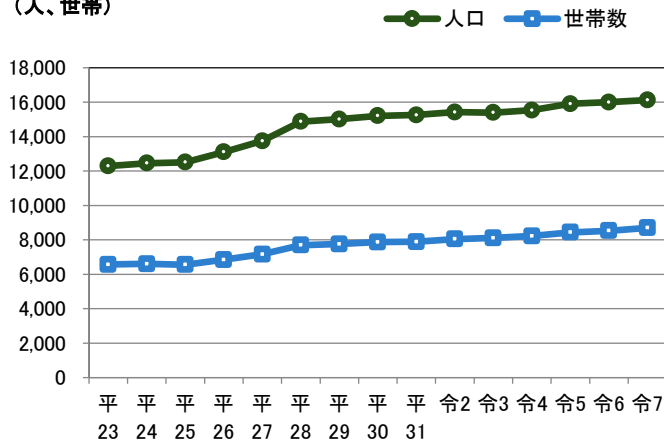


## 2 【人口世帯の状況 (令和7年3月末)】

	新子安地区	神奈川区		新子安地区	神奈川区
総人口	16,125人	246,217人	総世帯数	8,698世帯	136,040世帯
0～14歳	2,011人(12.5%)	25,804人(10.5%)	平均世帯人員	1.85人	1.81人
15～64歳	11,729人(72.7%)	166,678人(67.7%)	65歳以上 ひとり暮らし世帯	887世帯 (10.2%)	19,239世帯 (14.1%)
65歳以上	2,385人(14.8%)	53,735人(21.8%)			

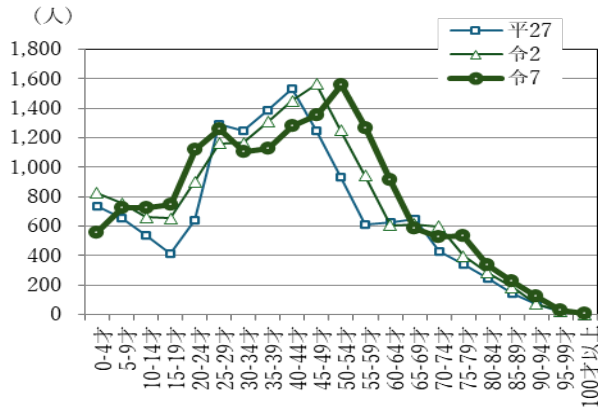
## 3 人口・世帯数の動向

(人、世帯)



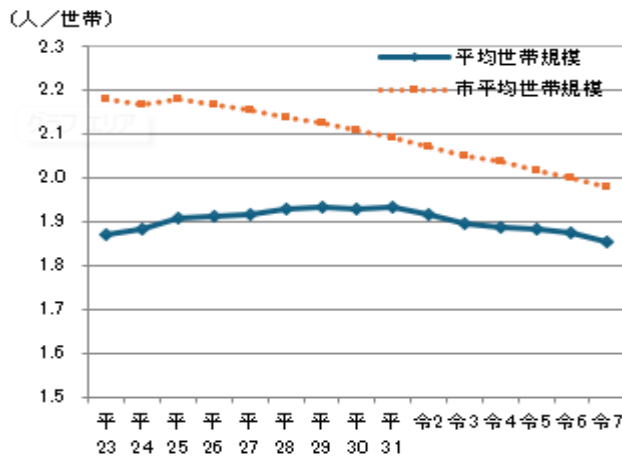
人口・世帯数は緩やかに増加する状態が続いている。

#### 4 年齢別人口の動向



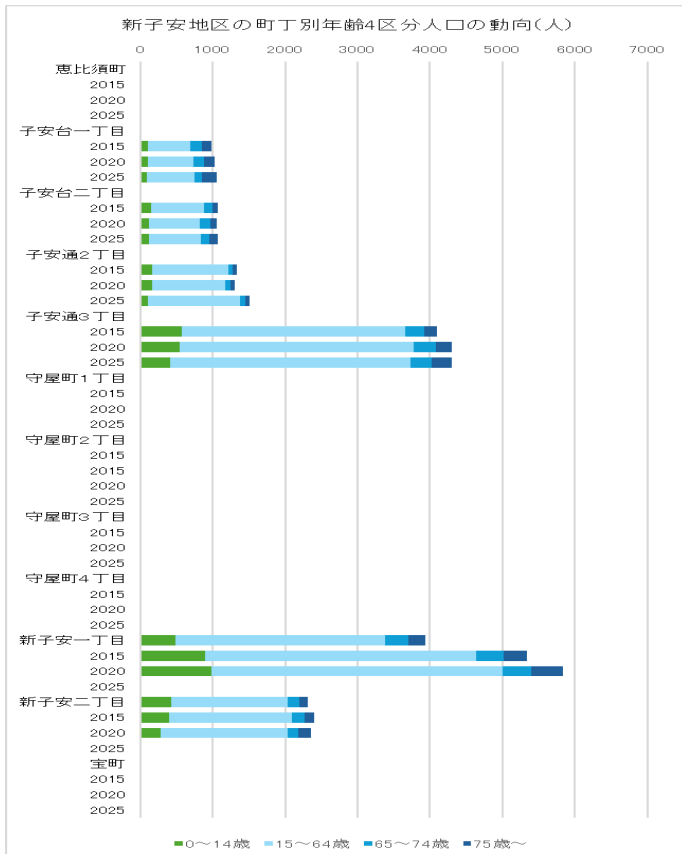
50歳代後半が特に多い年齢構成となっている。

#### 5 平均世帯規模別の動向



平均世帯人員は、令和7年度時点1.85人/世帯となっている。

#### 6 町丁別年齢4区分別人口の動向



新子安一丁目で人口が増加し、年少人口も増加している。他の町丁の人口は概ね安定している。新子安二丁目では年少人口が減少している。

# 子安通一丁目地区について

## 1 【地区概要】

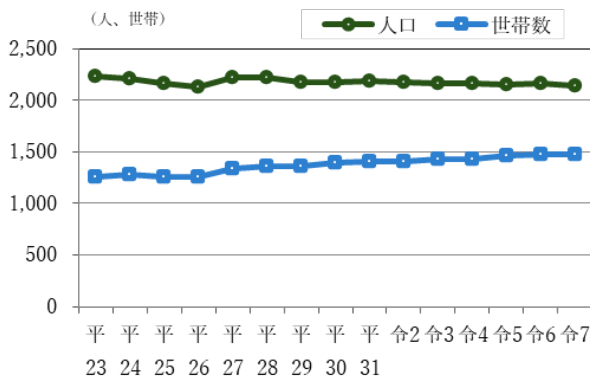
京急線の海側の地区で、地区内に子安駅があります。  
 地区の中央を東西に国道 15 号が通り、国道の海側は多くの戸建て住宅の中に井戸が残されており、かつての日本の生活様式を発見することができます。また、運河沿いには船の係留も見られ漁師町の風情が感じられます。一方、沿道は近年に建築された共同住宅が多くみられます。



## 2 【人口世帯の状況 (令和7年3月末)】

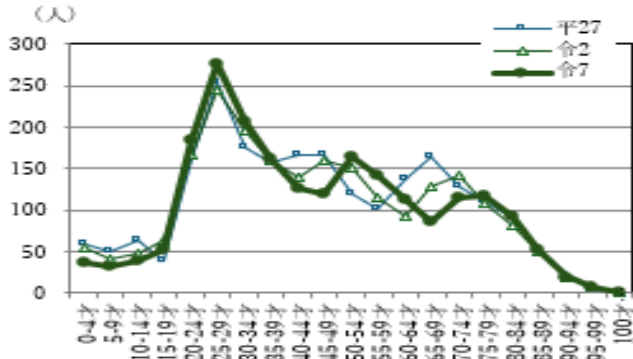
	子安通1丁目地区	神奈川区		子安通1丁目地区	神奈川区
総人口	2,143人	246,217人	総世帯数	1,477世帯	136,040世帯
0~14歳	108人(5.0%)	25,804人(10.5%)	平均世帯人員	1.45人	1.81人
15~64歳	1,544人(72.0%)	166,678人(67.7%)	65歳以上 ひとり暮らし世帯	215世帯 (14.6%)	19,239世帯 (14.1%)
65歳以上	491人(22.9%)	53,735人(21.8%)			

## 3 人口・世帯数の動向



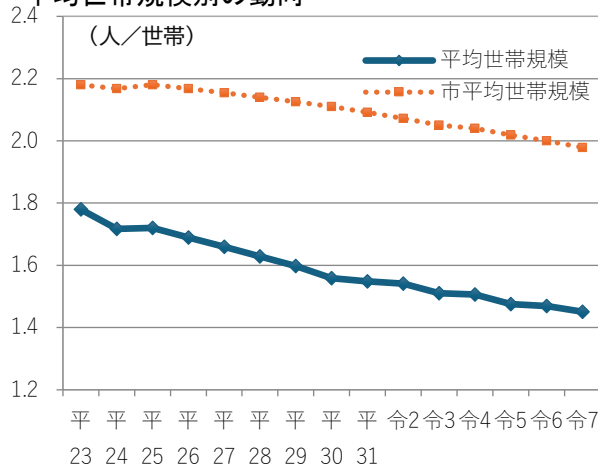
人口は減少気味だが安定した状態が続いている。

#### 4 年齢別人口の動向



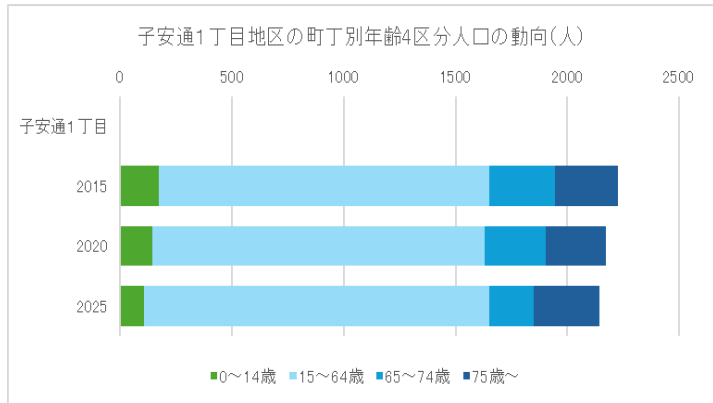
20歳代後半が特に多い年齢構成となっている。

#### 5 平均世帯規模別の動向



平均世帯人員は令和7年時点1.45人/世帯となっている。

#### 6 町丁別年齢4区分別人口の動向



子安通1丁目地区の人口は減少している。

# 入江地区について

## 1 【地区概要】

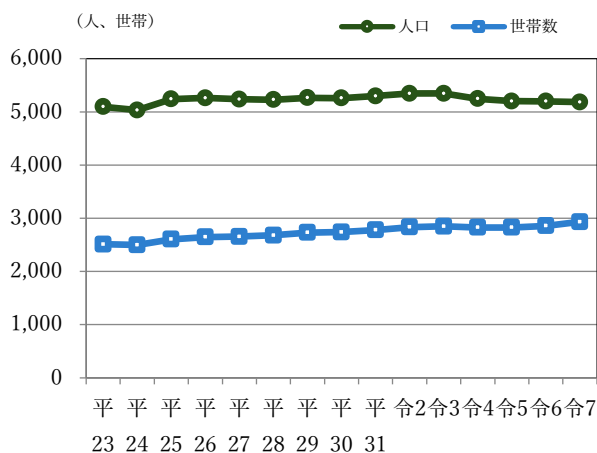
入江川に沿った、平坦な住宅地で、隣接地区には商業施設が多くあります。地区の西側は入江川、JR 横浜線、南側は JR 東海道線・横須賀線、京急線に接しており、地区に近接して JR の大口駅、新子安駅、京急線の子安駅、京急新子安駅があります。地区中央を東西方向に国道 1 号線が通っています。戸建て住宅が中心で共同住宅も混在しています。地区の中央に入江町公園があります。



## 2 【人口世帯の状況 (令和 7 年 3 月末)】

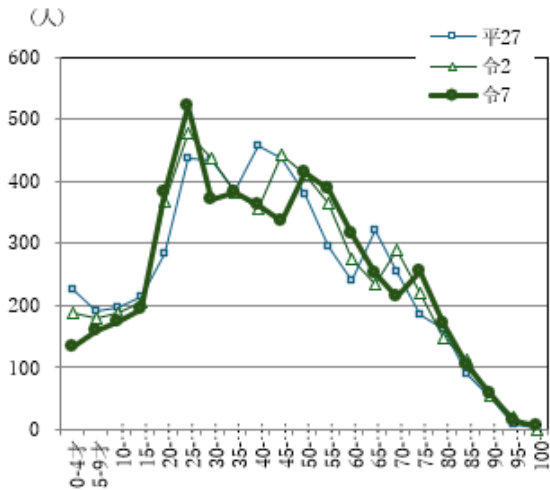
	入江地区	神奈川区		入江地区	神奈川区
総人口	5,184人	246,217人	総世帯数	2,934世帯	136,040世帯
0~14歳	462人(8.9%)	25,804人(10.5%)	平均世帯人員	1.77人	1.81人
15~64歳	3,661人(70.6%)	166,678人(67.7%)	65歳以上 ひとり暮らし世帯	346世帯 (11.8%)	19,239世帯 (14.1%)
65歳以上	1,061人(20.5%)	53,735人(21.8%)			

## 3 人口・世帯数の動向



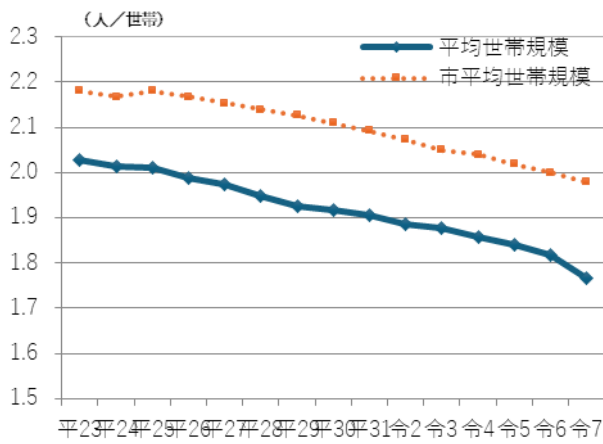
人口は緩やかに減少状態が続いている。世帯数は緩やかな増加傾向にある。

#### 4 年齢別人口の動向



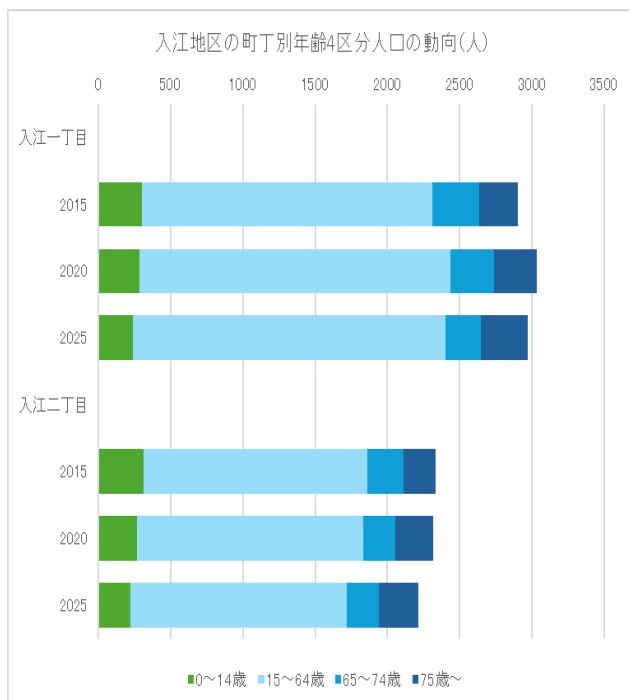
20 歳代後半が特に多い年齢構成となっている。

#### 5 平均世帯規模別の動向



平均世帯人員は令和 7 年時点 1.77 人/世帯となっている。

#### 6 町丁別年齢4区分別人口の動向



入江二丁目は、人口が減少傾向となっている。

# 浦島丘地区について

## 1 【地区概要】

浦島丘地区は、南面傾斜の丘陵地であり、陽光、海岸一帯の眺望が良く、明るく開放的な住宅地です。春は、地区近接の学校や公園の桜が美しく咲きほこり、街が一層華やぎます。坂道が多く、景色を楽しみながらの散策を日常的に行うことができ、健康づくりにも良い環境です。

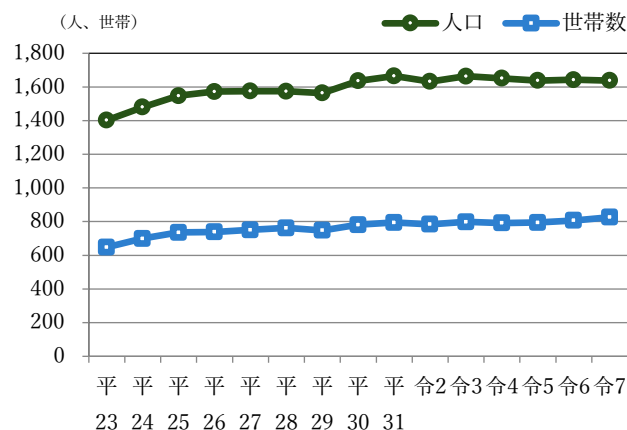
一方、この地区周辺は、都市活動を支える鉄道・主要な幹線道路が通り、地域内外へのアクセスが良く、利便性が高い環境となっています。また、神奈川区の浦島太郎伝説等のゆかりの場所の地名として親しまれています。



## 2 【人口世帯の状況（令和7年3月末）】

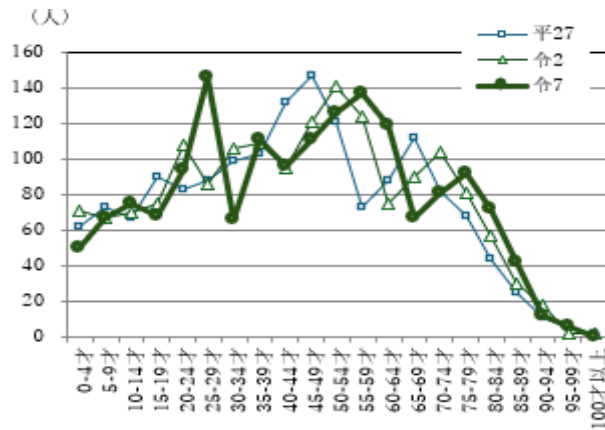
	浦島丘地区	神奈川区		浦島丘地区	神奈川区
総人口	1,638人	246,217人	総世帯数	826世帯	136,040世帯
0～14歳	192人(11.7%)	25,804人(10.5%)	平均世帯人員	1.98人	1.81人
15～64歳	1,074人(65.6%)	166,678人(67.7%)	65歳以上ひとり暮らし世帯	125世帯(15.1%)	19,239世帯(14.1%)
65歳以上	372人(22.7%)	53,735人(21.8%)			

## 3 人口・世帯数の動向



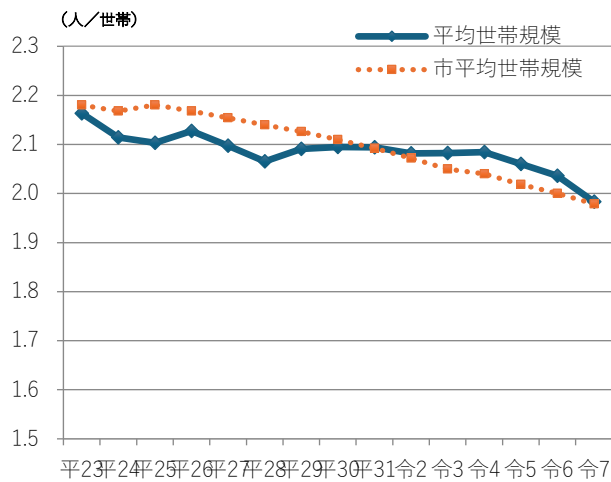
人口は微減状態が続いている。

#### 4 年齢別人口の動向



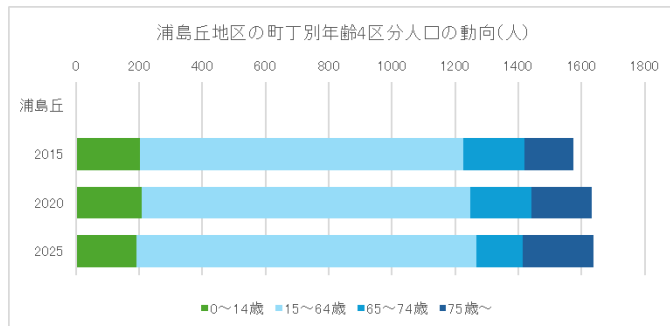
現在は 20 歳代後半と 50 歳代が多い年齢構成となっている。

#### 5 平均世帯規模別の動向



平均世帯人員は令和 7 年時点 1.98 人/世帯となっている。

#### 6 町丁別年齢4区分別人口の動向



年齢 4 区分別人口の動向では、年少人口がやや減少、生産年齢人口、後期高齢者人口が増加している。

# 神奈川県について

## 1 【地区概要】

区内最大数の町内会で構成される神奈川地区は、東海道五十三次のひとつ「神奈川宿」があった地として知られ、この地名が県の名前や区の名前の由来とされています。幕末には神奈川台場が築かれ、寺院の一部は各国の領事館などに充てられたほか、浜通りの浦島太郎伝説など様々な歴史を有しています。地域の各所で祭りが開催されるなど、まちに住むみんながつながりあえる地区を目指しています。

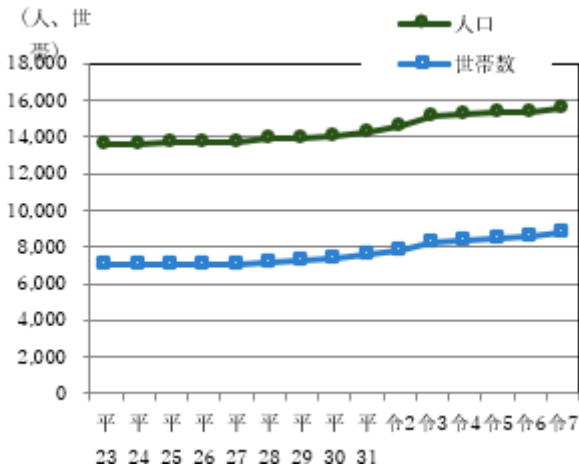


## 2 【人口世帯の状況 (令和7年3月末)】

	神奈川地区	神奈川区		神奈川地区	神奈川区
総人口	15,561人	246,217人	総世帯数	8,751世帯	136,040世帯
0~14歳	1,464人(9.4%)	25,804人(10.5%)	平均世帯人員	1.78人	1.81人
15~64歳	10,993人(70.6%)	166,678人(67.7%)	65歳以上ひとり暮らし世帯	1,071世帯(12.2%)	19,239世帯(14.1%)
65歳以上	2,610人(16.8%)	53,735人(21.8%)			

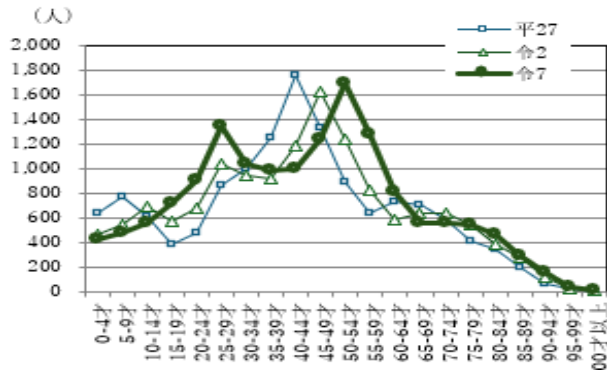
※神奈川地区の総人口は、統計地理上年齢別人口の合計(15,067人)と一致しません。

## 3 人口・世帯数の動向



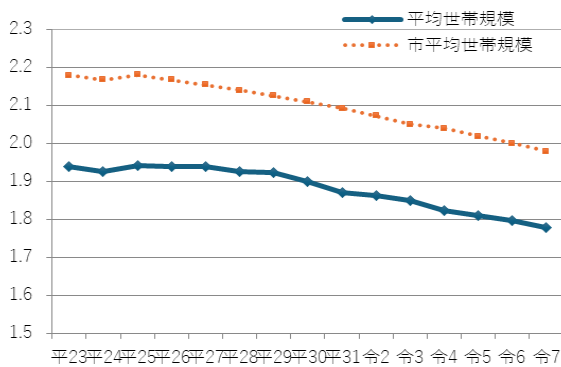
人口・世帯数は緩やかな増加状態が続いている。

#### 4 年齢別人口の動向



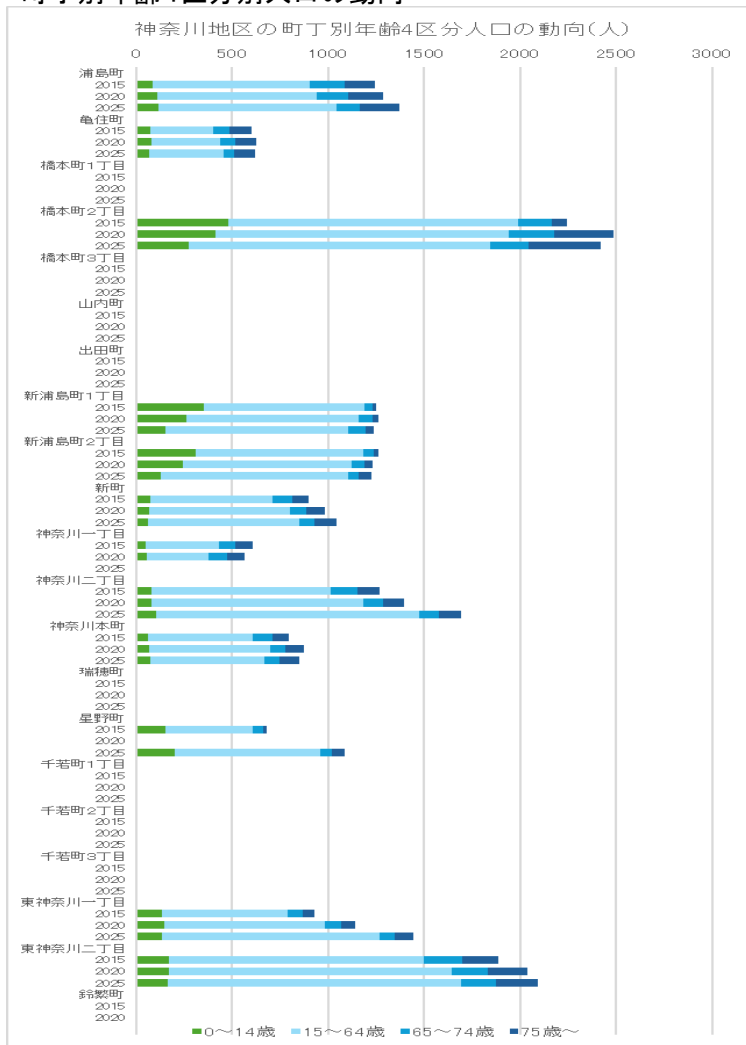
50歳代前半と20歳代後半が多い年齢構成となっている。

#### 5 平均世帯規模別の動向



平均世帯人員は令和7年時点  
1.78人/世帯となっている。

#### 6 町丁別年齢4区分別人口の動向



浦島町、新町、神奈川二丁目、東神奈川一丁目、東神奈川二丁目  
で人口が増加している。  
新浦島町一丁目、二丁目では、  
人口は概ね安定しているが、高  
齢者の増加と年少人口の減少し  
ている。